

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol.4 果実肥大のために、早めの摘果とかん水を！！

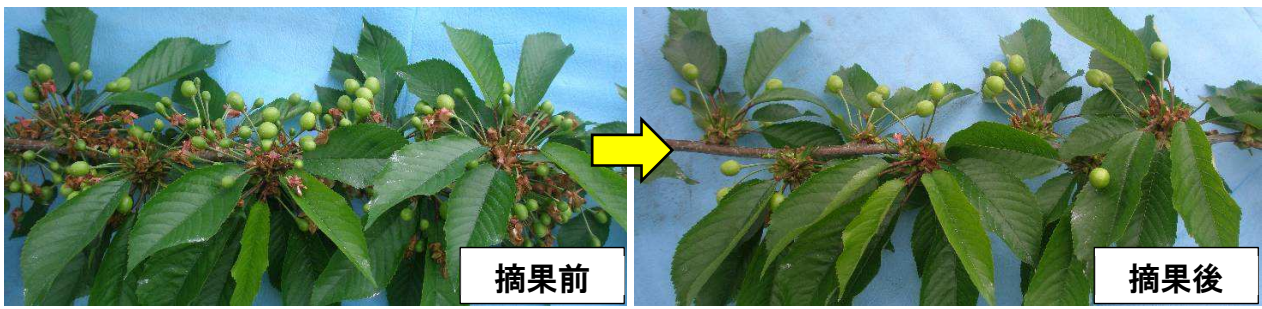
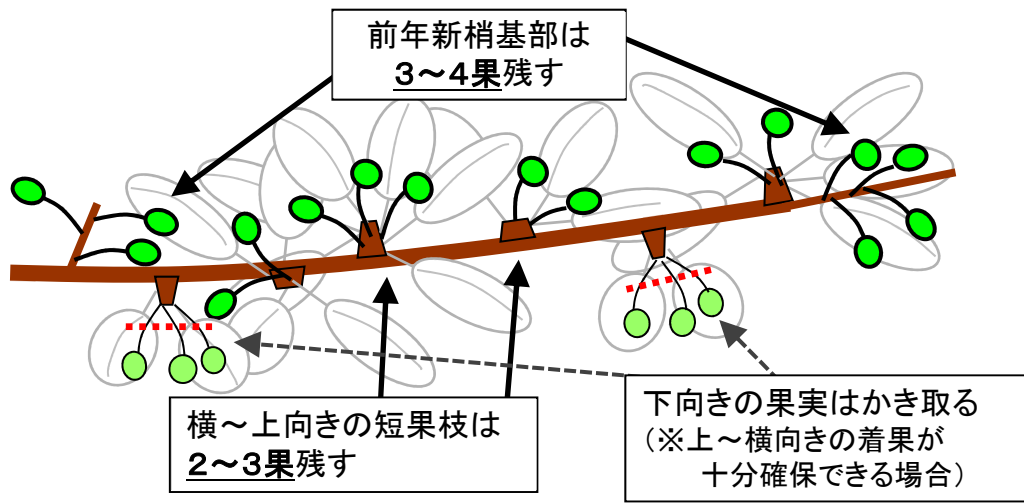
1 着果状況を確認し、早めの摘果を！

- 満開期は、平年より2～4日早い：「佐藤錦」4/25、「紅秀峰」4/22（園芸研）
- 実止まりが分かり始めたら、摘果に入りましょう！！

摘果は、早ければ早いほど、果実肥大は良好になります！
結実が良好な園地では、すみやかに摘果しましょう！！

園地によっては、降霜による被害を受けているところもあるので、摘果前に、園地全体の結実状況を確認しましょう！

- 摘果はスピード勝負！！まずは園地全体を、粗くひと回りしましょう！**
 着果が多い箇所（樹の上部、受粉樹の近く）、樹勢が弱い樹ほど早く
 ⇒ その後に仕上げ摘果を
- 目安：花束状短果枝当たり平均2～3果



2 土壌水分管理 **乾燥しています！ 雨を待たずにかん水を！！**

- 満開 30 日後までは、果実肥大のため十分な土壌水分が必要
 ⇒ **1週間降雨がない場合には、20～30t/10a かん水**
- 特に「紅秀峰」はたっぷりかん水！（「佐藤錦」より多くの水分が必要）

「やまがた紅王」の摘果

- 目安：花束状短果枝当たり平均 1.5 果～2 果未満
- 新梢基部や日当たりの良いところでは多めに、下枝や日当たりの悪いところでは少なめに調整しましょう
- 果実同士が接していると、その部分は着色しにくくムラになるため、果実の間に空間ができるようにしましょう



摘果後は少なく見えても、肥大すると十分な着果量です！

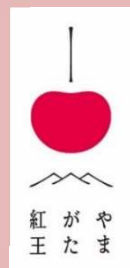


【苗木の管理もお忘れなく！】

- 着果していなくても、かん水、日当たり確保などの管理をしっかり行いましょう
- 早期の収量確保と大玉生産のためには、苗木のうちから、良好な生育を確保することが大切です！



いよいよ今年6月下旬から、
「やまがた紅王」の出荷が始まります！
適正な着果管理を行い、大玉で着色が良く、
おいしい「やまがた紅王」を消費者に届けましょう！！



安全第一！雨よけ被覆や脚立作業には十分注意を！！

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課

TEL:023-621-8270

TEL:0237-86-8301

TEL:0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課)